

# 取組の柱《2》業務改善の更なる推進 1人1台端末の活用

## 共通アプリケーションの活用 (美馬市立穴吹中学校)

学習形態によって、MetaMoji Classroom（ワークシート、メモ用紙、ホワイトボード）やZoom（話し合い、画面共有）、Teams（資料配付、短文の意見投稿）を使い分けている。

- ワークシートを印刷する作業時間が省けるし、状況に応じて設問に説明を加えたり、削除したりできる。
- 「スクリーンショット」を活用して、友だちの意見を画像にしてまとめられるので、生徒は手元の画面で確認することができる。



教師用の端末でも、生徒一人ひとりの意見や考え方が把握でき、この後の授業展開に活かすことができる。

## ICTを活用した授業実践を教職員全体で共有 (徳島県立板野支援学校)

MetaMoji Classroom内に共有ボックスを作成し、ICTの活用について全教職員で情報共有を図っている。

- 授業内容をまとめたワークシートを共有ボックスに保存しているので、他の学年や学部が取り組んだことを確認したり活用したりできる。
- MetaMoji Classroomを活用して情報共有することで、教職員のiPad操作の研修を兼ねることができ、スキルアップにつながる。



教材を共有することで、使用したアプリケーションについても確認することができる。